



『大きな木』



4年 久保田 潤くん

※大きな木にするために、葉をたくさんかきました。色が上手にぬれました。



1年 藤原 里佳さん

※牛の角がかっこよく描けました。色のぬり方もうまくできました。



『うし』

あつまれ みんなの力作



5年 菱木 一樹くん

※この塔では、かざりつけがむすかしかったけど一番きれいにしあげました。



『ふしぎな塔』



『きりんとぞう』



2年 高橋 克弥くん

※ダンボールをちぎったらきりんの形になりました。作るのが楽しかったです。



『銀河鉄道の夜』



6年 大和田 愛さん

※この作品の中で、私が一番気に入っているのは夜空に広がるまっ白な星です。



3年 青柳 千花さん

※わたしのよくできた所は、ほっぺたの、ふくらんでる所だと思えます。



『おにのおめん』

ひかり歌壇



鈴木甲子幸 (白磯)

幼き日父植えくれし富有柿
常の稔りの今年見られず

父上を偲び流れもよく今年の旱天
続きが歌はれました

伊藤 定男 (尾垂)

熱帯夜明けて触れたる今朝の風
冷気を帯びて清しかりけり

初秋の朝の感覚がよく表現されました

越川 義則 (二又)

夕暮れの庭にとんぼの飛び来り
吾を忘るる幼な思い出

とんぼの少なくなった近頃さまざま
の思い出が懐かされます

藤代 敏子 (宮内)

新らしき本の感触全五巻
「沈まぬ太陽」ひたに読み継ぐ

読書への素晴らしい意欲が現はされました

評者詠 竹内 紀葉

とんぼつり楽しかりけり幼日の
とんぼの盛り今に見られず